

取扱説明書 C-18

施主様用
(保管用)


この度は、当社商品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
 末永くご愛用いただくために、この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお取り扱いください。
 この取扱説明書は大切に保管してください。


安全上のご注意 ※必ずお守りください。


お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐため、必ずお守りいただくことを説明しています。


◎誤った取扱いをした場合に生じる危険や損害度を、次の区分で説明しています。

◎本文中や本体に使われている図記号の意味は以下の通りです。



 **警告** 「死亡や重傷を負うおそれがある」内容です。

 **禁止** 「絶対してはいけない」内容です。


 **注意** 「傷害を負うことや、財産の損害が発生する恐れがある」内容です。

 **指示を守る** 「実行しなければならない」内容です。

警告

 禁止	<ul style="list-style-type: none"> ■ 分解・改造・用途以外の使用は絶対にしないでください。ケガ・事故の原因となります。 ■ 火気を近づけないでください。火災・故障・変色・塗装剥がれの原因となります。 ■ 可動部分に手や指等を挟んでケガをしないようご注意ください。 ■ 隙間に手や指を入れないでください。ケガ・事故の原因となります。 ■ 破損したままでの使用は絶対にやめてください。
 指示を守る	<ul style="list-style-type: none"> ■ 配線作業は、必ず電源を切ってから行なってください。感電の原因となります。 ■ 異常を感じた場合は、すみやかに使用を中止し、販売店または施工店にご相談ください。 (例)・部品の破損がある ・異音がする ・腐食などによる機能、性能の低下

注意

 指示を守る	<ul style="list-style-type: none"> ■ 安全のため、定期的に接合部のビス等のゆるみやがたつきが無いか確認し使用してください。部材が落下してケガをしたり、変形・破損する恐れがあります。施主様で確認出来ない場合は、最寄りの施工店や専門業者に依頼してください。
--	---

取扱上のご注意 ※必ずお守りください。

<ul style="list-style-type: none"> ■ この商品は無理な荷重・衝撃・落下により破損する可能性がありますので、取り扱いにはご注意ください。 ■ 金属の切断面には充分ご注意ください。安全に配慮した処理を施しておりますが、ケガをする場合があります。 ■ 塗装部分に関しては、金属に焼付塗装を施しております。摩擦や引っ掻き等により塗装部分が傷つくことがありますので、取り扱いにはご注意ください。環境条件によっては、塗装部分に変色・シミ・錆等が生じることがあります。 ■ お子様があぶつかる危険の無いようご注意ください。 ■ 投函扉・取出扉の開閉の際に手などを挟まないよう、ご注意ください。 ■ 商品に寄り掛かったり、ぶら下がったり、過度の荷重をかけないでください。ケガ・事故の原因となります。 ■ 投函扉・取出扉は無理に開けようとしていたり、荷重をかけると変形・破損の恐れがありますのでご注意ください。 ■ 防犯上、取出扉の施錠は必ず行ってください。 ■ 貴重品、重要書類、危険物、なま物等の保管はしないでください。一般郵便物の受箱として設計されていますので、貴重品類の受け取りや保管には適していません。意図的な盗難やいたずらには対応できません。 ■ 郵便物の溜めすぎにご注意ください。郵便物で投函扉が開きっぱなしになり、雨水の侵入・盗難の原因となります。 ■ 商品は防雨性ですが、完全防水ではありません。商品の中に水が溜まる恐れがありますので、お早めに郵便物を取り出してください。 ■ 台風などの強風の日には、取出扉が開かないよう必ず施錠を行なってください。取出扉が風にあおられ、変形・破損の原因となります。 ■ ホース等で商品に直接水をかけないでください。各機能に障害が生じる原因となります。 ■ 定期的に各部の点検・清掃・給油を行なってください。故障の原因となります。 ■ 商品を廃棄される場合はお住まいの地域の取り決めに基づいた処理をお願いします。
--

鍵について

鍵は施錠するために必要です。大切に保管してください。
 防犯上、取出扉の施錠は必ず行ってください。
 鍵の追加注文にも対応しております。
 本体底面に記載されているIDナンバーをご確認の上、販売店または施工店までお問い合わせください。

SXXXXXXXXXX

↑
IDナンバー

ご使用方法

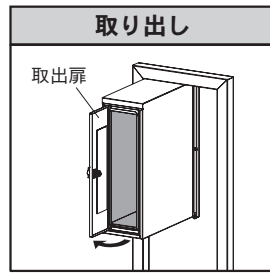


投函扉を開き、郵便物を投函します。

(大型郵便物が入る大きさになっております。)

⚠ 注意

- ① 投函扉は90°以上開けないでください。変形・破損の原因となります。
- ② 投函扉を開ける際は無理な荷重をかけないでください。変形・破損の原因となります。



取出扉を手前に開いて中の郵便物を取り出します。

⚠ 注意

- ① Tカムロックがオープン状態になっている事を確認の上、取出扉を開けてください。変形・破損の原因となります。
- ② 取出扉は90°以上開けないでください。変形・破損の原因となります。
- ③ 取出扉を開ける際は無理な荷重をかけないでください。変形・破損の原因となります。



鍵がない状態でも取出扉をロックする事ができます。

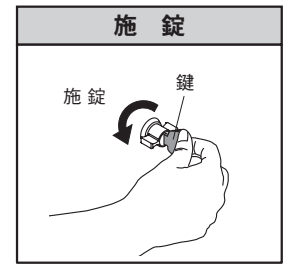
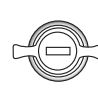
※完全な施錠ではありません。取出扉を開ける際はTカムロックを右に90°回して開ける事ができます。

閉める際はTカムロックを左に90°回してロックできます。

オープン



ロック



Tカムロックをロック状態にして、付属の鍵で施錠します。

⚠ 注意

- ① 郵便物を取り出した後は必ず取出扉を閉め、鍵で施錠してください。

お手入れ方法

- 付着した汚れは、柔らかい布で水拭きをした後、柔らかい乾いた布で水分を十分に拭き取ってください。拭き取る際は、キズがつかないようにご注意ください。ヘアラインの場合は、目に沿って拭くようにしてください。
- 汚れが目立つ際は、水で薄めた中性洗剤で拭き、十分に水拭きを行なってください。
- 海水など塩分を含んだものやゴミなどの付着物を放置すると錆発生の原因となりますので、必ず拭き取るようにしてください。
- 投函扉、取出扉は使用状況により、摩擦で小さな擦れ音が発生する場合がありますので、開閉金具への定期的な給油をおすすめいたします。



注意

- 塩害環境に厳しい地域では錆びやすくなりますのでご注意ください。ステンレスは錆びに強い金属ですが、絶対に錆びない素材ではありませんので、予めご了承ください。また、鉄粉など表面に付着したまま放置すると錆が発生しますので、必ず拭き取るようにしてください。
- ステンレスの切断面は安全に配慮し処理を施していますが、ケガをする場合がありますので素手で触れないようご注意ください。
- お手入れの際、研磨剤入りのクレンザー等は、本体表面に傷をつける恐れがあるため使用しないでください。
- シンナー、ベンジン、ワックス、石油、塩素系溶剤等は塗装を剥がす恐れがあるため使用しないでください。
- 殺虫剤、ガラスクリーナー、ヘアスプレー等は変色の恐れがあるため商品にかからないようご注意ください。

商品改良のため、仕様・外観は予告なしに変更することがありますのでご了承ください。

<日本製>

施工説明書 C-18

機能門柱

施工店用
(保管用)

施工店様へ





- 安全上のご注意は、施工前に必ずお読みください。
- 必ずこの施工説明書に従って正しく施工してください。
- 引き渡しの際は、取扱説明書に従って取扱方法を施主様にご説明いただき、取扱説明書は必ず施主様にお渡しください。

安全上のご注意 ※必ずお守りください。



お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐため、必ずお守りいただくことを説明しています。

◎誤った取り扱いをした場合に生じる危険や損害度を、次の区分で説明しています。



◎本文中や本体に使われている図記号の意味は以下の通りです。

 警告 「死亡や重傷を負う恐れがある」内容です。	 禁止 「絶対してはいけない」内容です。
 注意 「傷害を負うことや、財産の損害が発生する恐れがある」内容です。	 指示を守る 「実行しなければならない」内容です。

警告

 禁止	<ul style="list-style-type: none"> ■分解・改造・用途以外の使用は絶対にしないでください。ケガ・事故の原因となります。 ■次のような場所には取り付けしないでください。ケガ・事故・商品破損・感電の原因となります。 <ul style="list-style-type: none"> ・傾斜した場所 ・施工強度が確保できない場所 ・浴室等の常時湿気のこもる場所 ・冠水する恐れのある場所 ・通行の妨げとなる場所 ・極端に高い場所 ・強い振動や衝撃等のある不安定な場所 ・火気の近くや高温になる場所 ■火気を近づけないでください。ケガ・事故・火災・故障の原因となります。 ■可動部分に手や指等を挟んでケガをしないようご注意ください。
 指示を守る	<ul style="list-style-type: none"> ■取付工事は危険を伴う場合がありますので、必ず施工業者等のプロによる施工をお願いします。また、2人以上で作業を行なうようにしてください。 ■地下埋設物（給排水管など）に影響が出ないように取付環境をご確認の上、施工してください。 ■商品の施工は、施工説明書に従い行ってください。取り付けに不備があると、ケガ・落下・破損の原因となります。 ■配線作業は、必ず電源を切ってから行ってください。感電の原因となります。 ■異常を感じた場合は、すみやかに使用を中止し、販売店にご相談ください。 (例) ・部品の破損がある ・異音がする ・腐食などによる機能、性能の低下

注意

 禁止	<ul style="list-style-type: none"> ■商品に寄り掛かったり、ぶら下がったり、過度の荷重をかけないでください。ケガ・事故の原因となります。 ■商品に傷をつけないようご注意ください。お客様が施工中に破損された場合は、商品の取り替え等の措置は出来かねますので、ご了承ください。
 指示を守る	<ul style="list-style-type: none"> ■運搬する際は、商品を引きずらないようにしてください。床にキズがつく場合がございます。また、他の物と商品がぶつからないよう、充分注意して運搬・取り付けを行なってください。 ■基礎穴および埋め込み深さは基準通りに設けてください。 ■雨水の溜まりを防ぐため、基礎碎石を敷いてください。 ■必ず商品の可動範囲内に他商品や突起物が無いよう、取付環境をご確認の上、施工してください。

施工上のご注意 ※必ずお守りください。

- この商品は無理な荷重・衝撃・落下により破損する可能性がありますので、取り扱いにはご注意ください。
- 金属の切断面には充分ご注意ください。安全に配慮した処理を施しておりますが、ケガをする場合があります。運搬・取り付けをする際は保護用手袋を着用し、注意して作業を行ってください。
- 塗装部分に関しては、金属に焼付塗装を施しております。摩擦や引っ掻き等により塗装部分が傷つくことがありますので、取り扱いにはご注意ください。環境条件によっては、塗装部分に変色・シミ・錆等が生じる場合があります。
- 塩害環境に厳しい地域では錆びやすくなりますのでご注意ください。ステンレスは錆びに強い金属ですが、絶対に錆びない素材ではありませんので、取付環境には充分ご注意ください。
- 隙間に手や指を入れないよう、ご注意ください。
- 施工時や移動時など手を挟まないようご注意ください。
- 商品にコンクリートやモルタル等が付着しないよう養生を行ってください。塗料剥がれ・腐食の原因となります。付着した場合は速やかに清掃してください。
- 垂直・水平に施工してください。変形・故障の原因となります。
- ホース等で商品に直接水をかけないでください。各機能に障害が生じる原因となります。
- 商品を廃棄される場合はお住まいの地域の取り決めに基じた処理をお願いします。

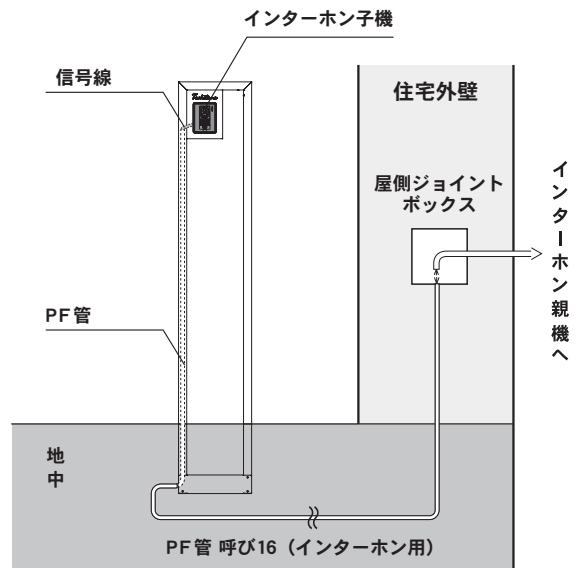
施工される前に

電気配線工事

- 電気配線工事は専門の電気工事店にご依頼ください。
- 信号線（インターホン用）は、VCTF0.75mm²より線またはφ1.0mm単線2芯または3芯を準備してください。
- 接地工事は、電気設備の技術基準に従い、確実に行ってください。
- 機能門柱建て位置へあらかじめPF管を埋設してください。

注意

- ❗ PF管埋設工事については、内線規程に従ってください。
- ❗ PF管の中に水が入らないよう、必ず止水処理を行ってください。



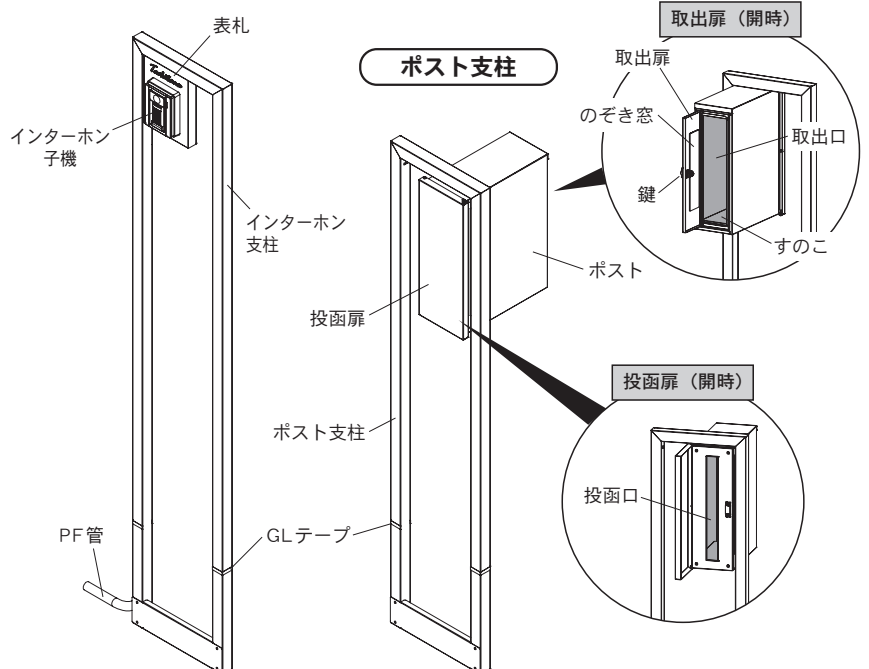
付属品

※不備がないかご確認ください。
※本商品には、インターホンは含まれておりません。



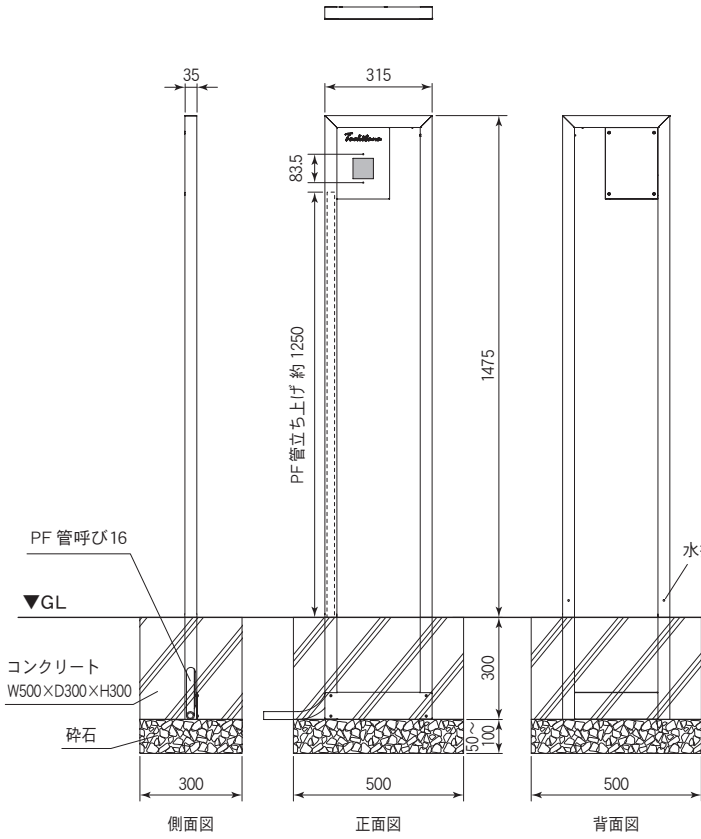
各部名称

インターホン支柱

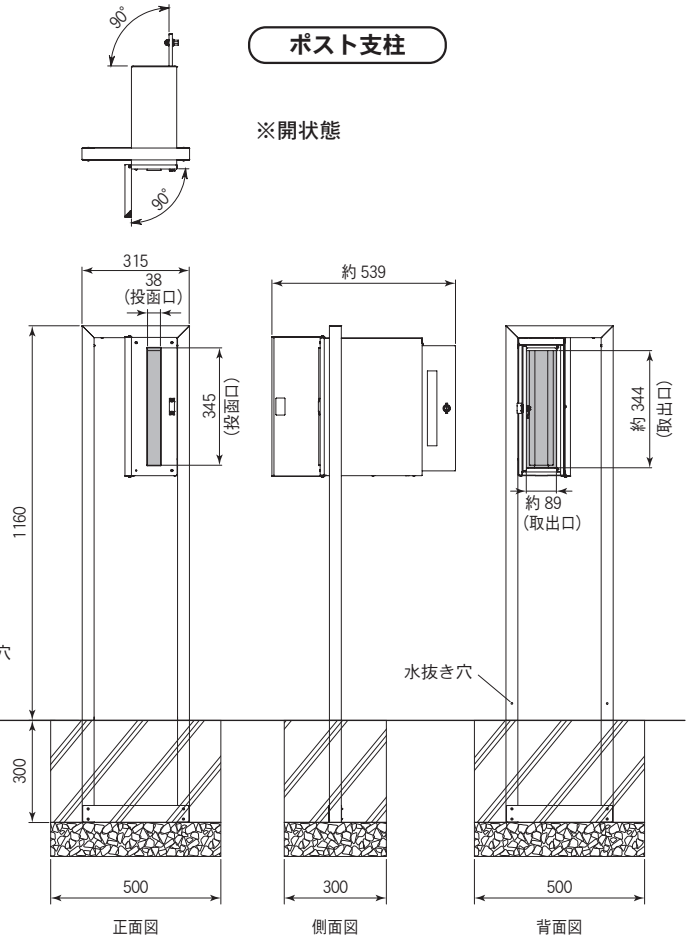


製品寸法

インターホン支柱

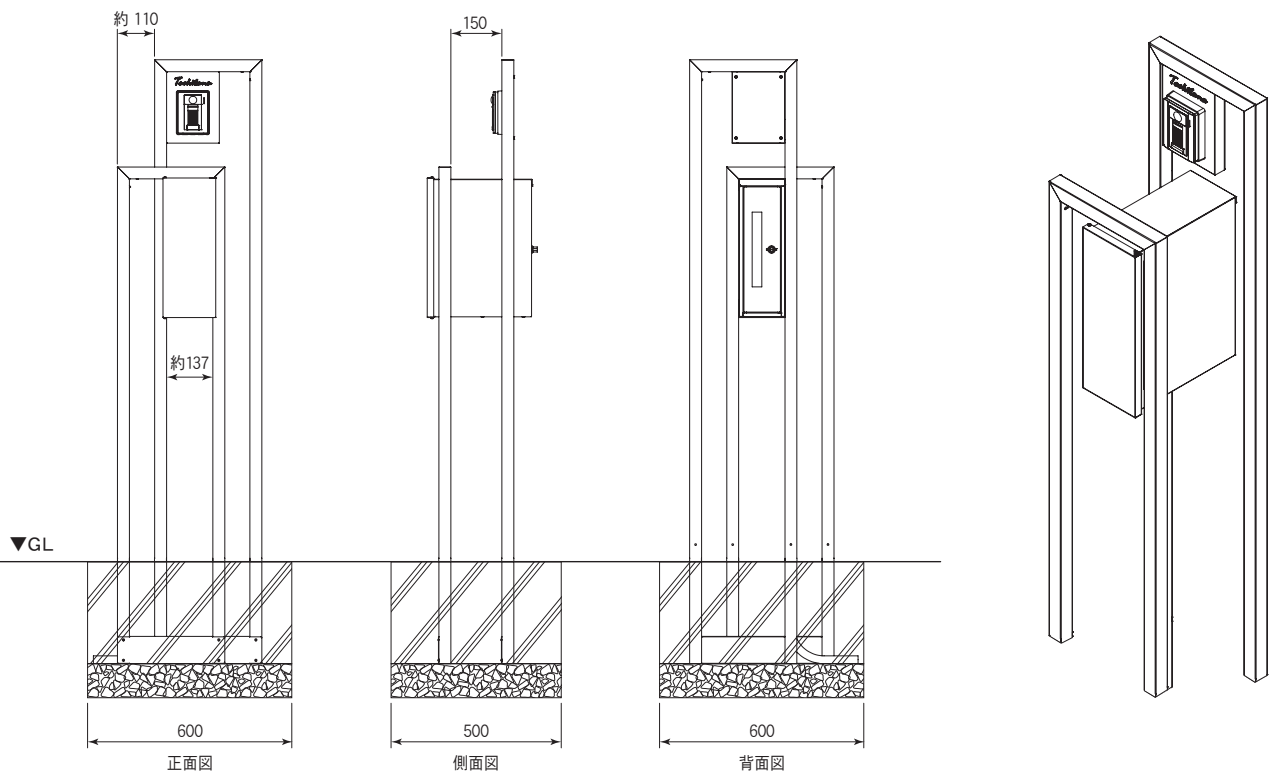


ポスト支柱



推奨配置 (支柱同士を近づけた場合)

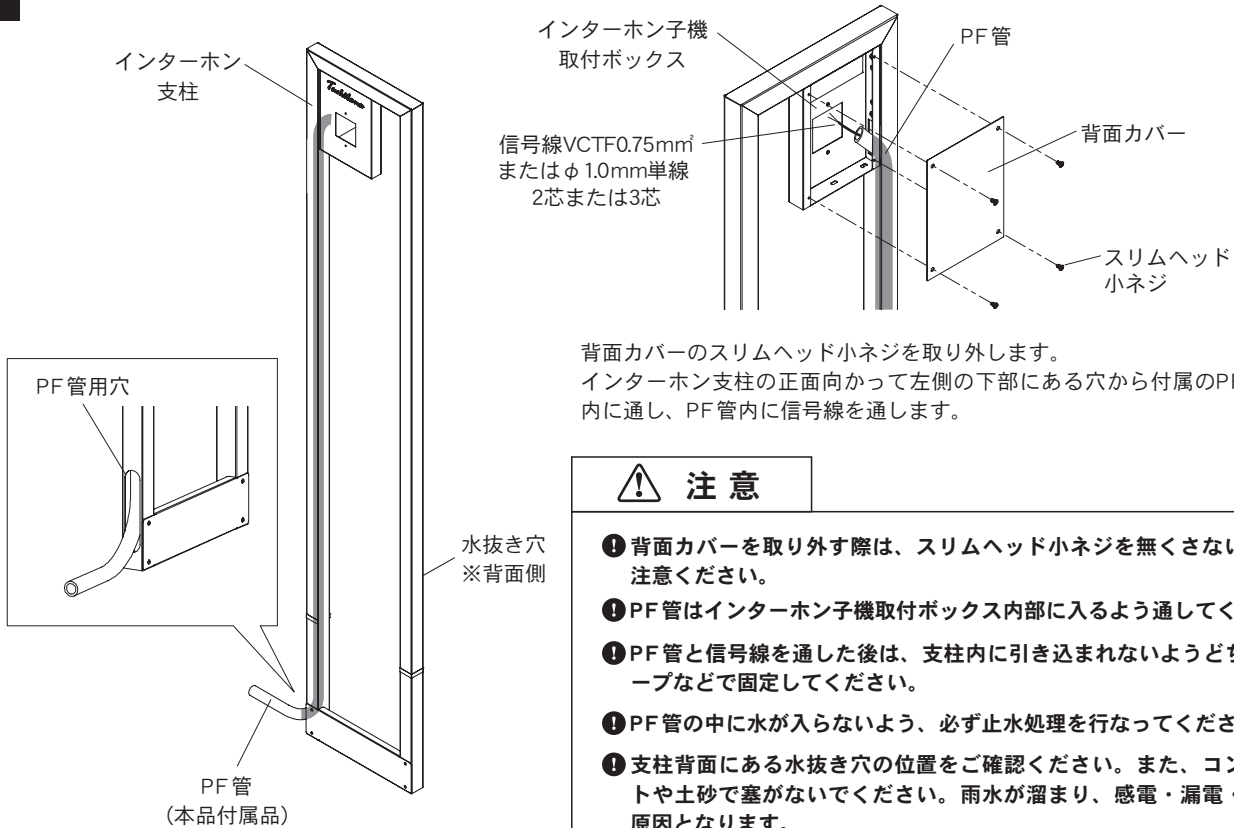
※下記の寸法数値は目安です。位置関係は、支柱を実際に配置し調整してください。



施工方法 ※ご確認ください。

- ❗ 配管（配線）は商品を施工する前に行なってください。
- ❗ 支柱同士を近づけて施工する際は、施工前に必ず支柱同士の位置関係を確認してください。

1

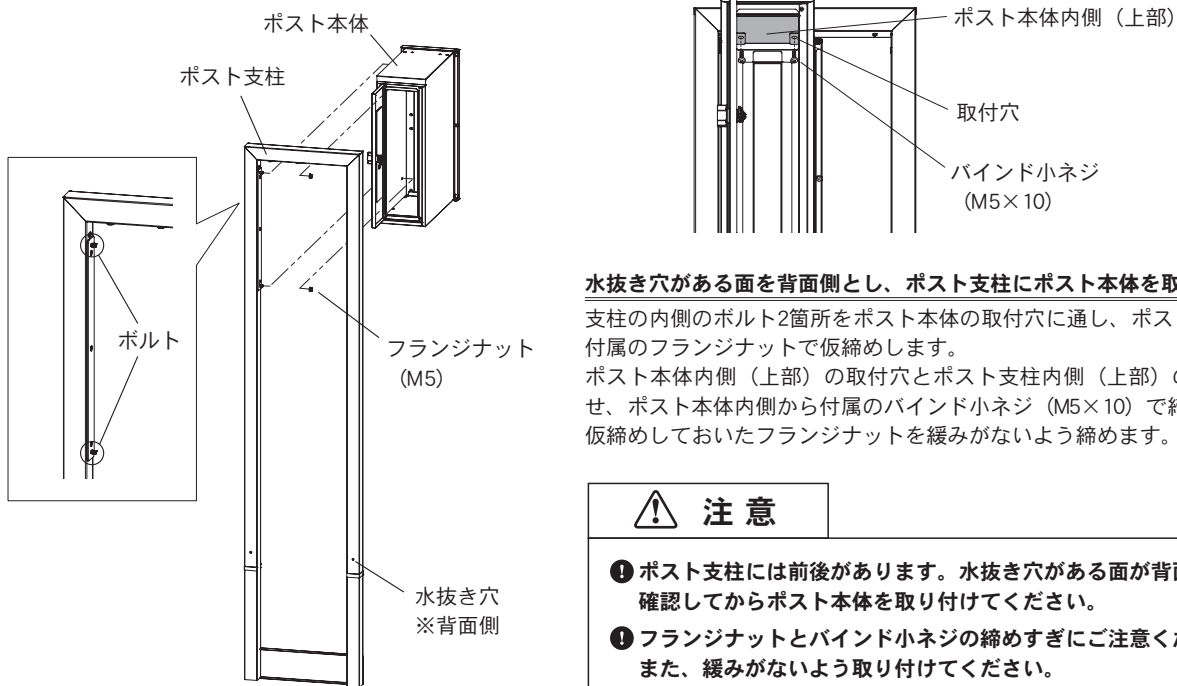


背面カバーのスリムヘッド小ネジを取り外します。
インターホン支柱の正面向かって左側の下部にある穴から付属のPF管を支柱内に通し、PF管内に信号線を通します。

⚠ 注意

- ❶ 背面カバーを取り外す際は、スリムヘッド小ネジを無くさないようご注意ください。
- ❷ PF管はインターホン子機取付ボックス内部に入るよう通してください。
- ❸ PF管と信号線を通した後は、支柱内に引き込まれないようどちらもテープなどで固定してください。
- ❹ PF管の中に水が入らないよう、必ず止水処理を行なってください。
- ❺ 支柱背面にある水抜き穴の位置をご確認ください。また、コンクリートや土砂で塞がないでください。雨水が溜まり、感電・漏電・故障の原因となります。

2



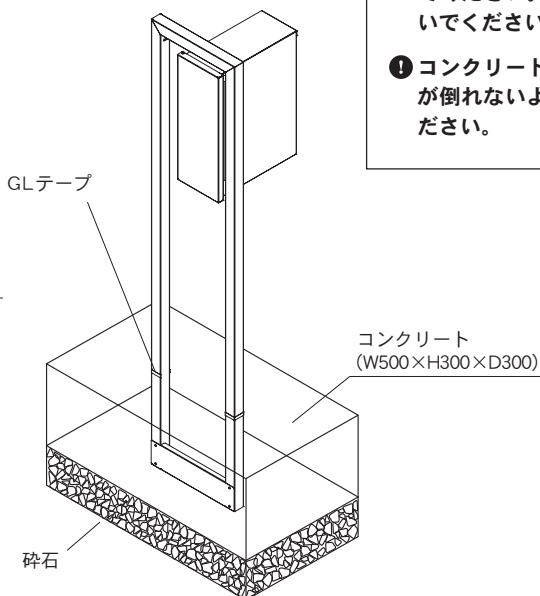
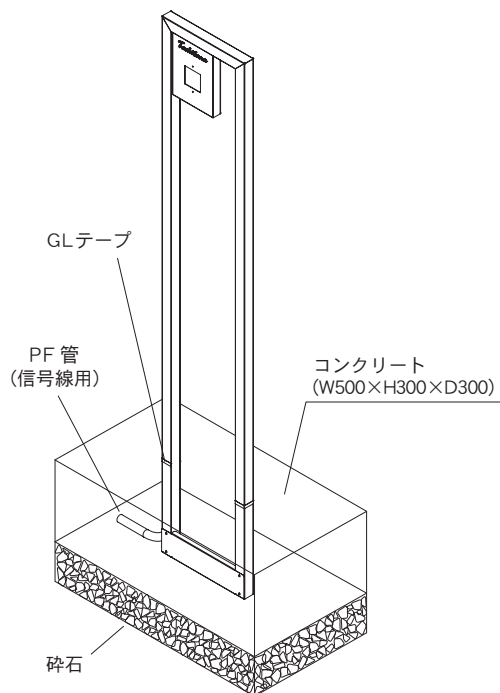
水抜き穴がある面を背面側とし、ポスト支柱にポスト本体を取り付けます。
支柱の内側のボルト2箇所をポスト本体の取付穴に通し、ポスト本体側から付属のフランジナットで仮締めします。
ポスト本体側（上部）の取付穴とポスト支柱側（上部）の取付穴をあわせ、ポスト本体側から付属のバインド小ネジ（M5×10）で締め込みます。
仮締めしておいたフランジナットを緩みがないよう締めます。

⚠ 注意

- ❶ ポスト支柱には前後があります。水抜き穴がある面が背面となるよう確認してからポスト本体を取り付けてください。
- ❷ フランジナットとバインド小ネジの締めすぎにご注意ください。また、緩みがないよう取り付けてください。
- ❸ 支柱背面にある水抜き穴の位置をご確認ください。また、コンクリートや土砂で塞がないでください。雨水が溜まり、感電・漏電・故障の原因となります。

3-1 支柱同士を離して施工する場合

基礎穴を掘り、支柱内の水溜まり防止の為、必ず碎石を深さ 50~100mm 程度敷きます。支え棒などで自立させ、支柱を埋め込む穴に設置します。水準器などで支柱の水平・垂直を確認し、GLテープを目印にコンクリートを打設します。施工後は、GLテープを剥がしてください。

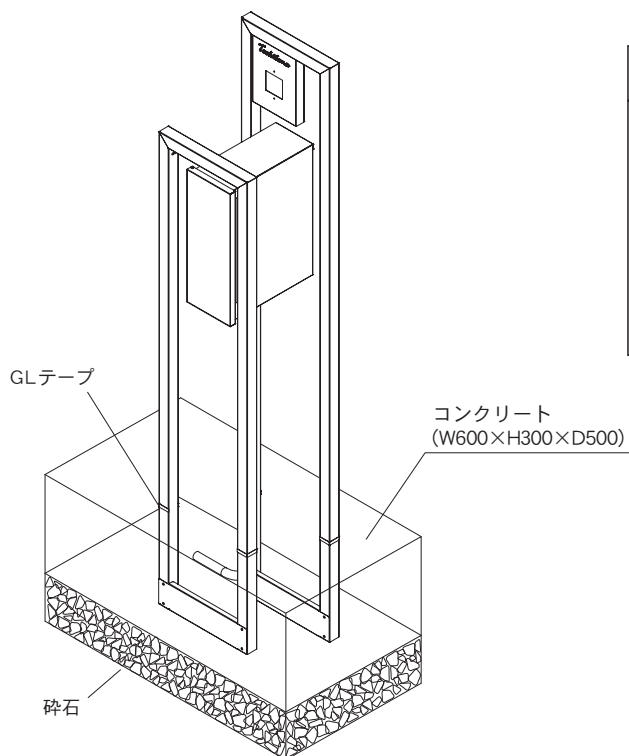


⚠ 注意

- ❶ GLテープより下を埋め込むようにしてください。テープ部分を埋め込まないでください。
- ❷ コンクリートが硬化するまでは、支柱が倒れないよう添え木等で固定してください。

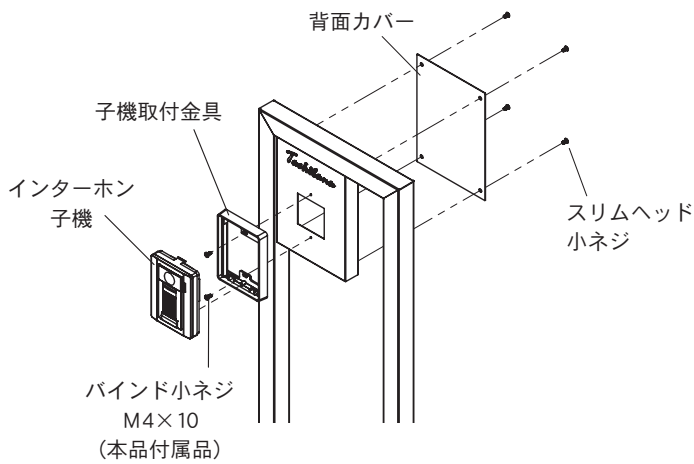
3-2 支柱同士を近づけて施工する場合（推奨位置）

基礎穴を掘り、支柱内の水溜まり防止の為、必ず碎石を深さ 50~100mm 程度敷きます。支え棒などで自立させ、支柱を埋め込む穴に設置します。支柱同士の間隔を最終調整します。推奨位置で施工したい場合は、製品寸法内の **推奨配置（支柱同士を近づけた場合）** の寸法値をご確認ください。水準器などで支柱の水平・垂直を確認し、GLテープを目印にコンクリートを打設します。施工後は、GLテープを剥がしてください。



⚠ 注意

- ❶ 支柱同士を近づけて施工する際は、支柱が扉の可動範囲内に入っていないか確認してから位置関係を調整してください。
- ❷ GLテープより下を埋むようにしてください。テープ部分を埋め込まないでください。
- ❸ コンクリートが硬化するまでは、支柱が倒れないよう添え木等で固定してください。



付属のバインド小ネジ (M4×10) でインターホン子機を取り付け、配線を完了します。取り外しておいたスリムヘッド小ネジで背面カバーを取り付けます。

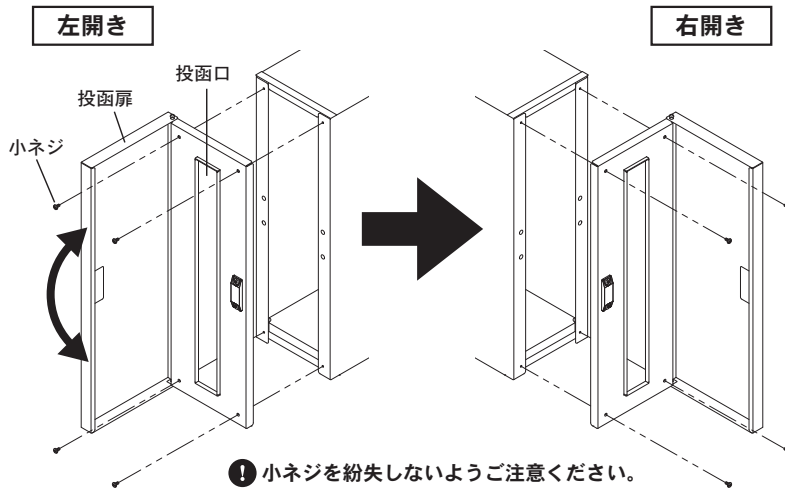
⚠ 注意

- ❗ インターホン子機・子機取付金具は付属していませんので、現地にて手配してください。
- ❗ 取付作業の際は、ブレーカーを落として作業を行ってください。通電状態で行なうと感電・破損の原因になります。

投函扉の開閉方向の変更

投函扉は、開閉方向を変更することができます。

左開き仕様での出荷となりますが、右開きをご希望の際は下記方法に従い、部品を付け替えてください。



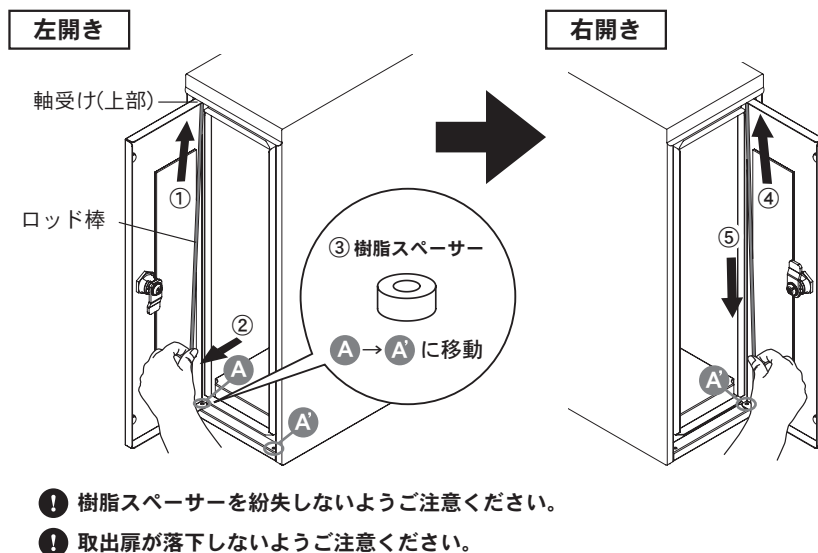
- ① 投函扉を開け、投函口付近の上下4ヵ所ある小ネジをドライバーで外します。
- ② 取り付けられていた投函口と投函扉をそのまま上下反対に回転させ取り付けます。
- ③ ①で外した小ネジを、投函口付近の上下4ヵ所のネジ穴に取り付けます。

- ❗ 取り付け後、小ネジが投函扉のネジ穴に確実に締まっていることを確認してください。
- ❗ 投函扉の付け替えは必ず付属されているシールの貼り付け前に行なってください。

取出扉の開閉方向の変更

取出扉は、開閉方向を変更することができます。

左開き仕様での出荷となりますが、右開きをご希望の際は下記方法に従い、付け替えてください。



- ① ロッド棒下部を手で上方向に持ち上げます。
- ② ロッド棒を上にした状態でロッド棒下部をずらし、軸受けから外します。
- ③ ポスト本体の軸受け(A)に取付けられている樹脂スペーサーをもう一方の軸受け(A')に付け替えます。

- ❗ 樹脂スペーサーを紛失しないようご注意ください。
- ④ 取出扉を上下反対に回転させ、ロッド棒を取出扉上部の穴に挿入してから、ポスト本体の軸受け上部に挿入します。
- ⑤ ロッド棒を取出扉下部の穴、本体軸受け下部に挿入します。
- ❗ 取り付け後、ロッド棒が取出扉の穴に確実に納まっていることを確認してください。

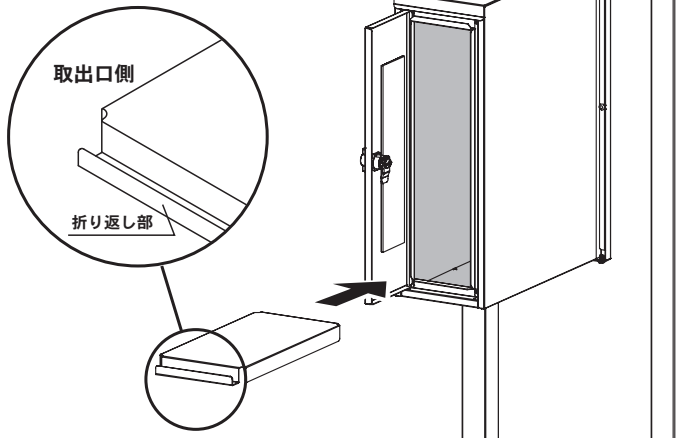
- ❗ 樹脂スペーサーを紛失しないようご注意ください。
- ❗ 取出扉が落下しないようご注意ください。

すのこの取付方向

付属品のすのこを使用することで底面を高くし、郵便物が濡れにくくなります。

すのこには取付方向がございます。下記の内容をご確認の上、正しく取り付けを行なってください。

取出口側にすのこの折り返し部がくるように取り付けてください。

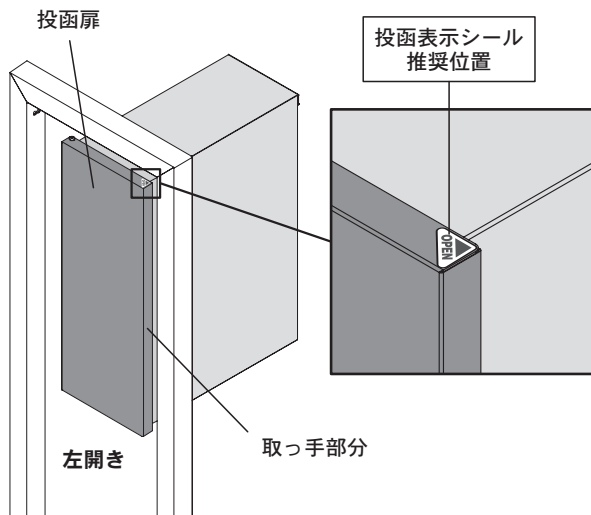


❗ すのこは梱包箱内にごございます。忘れずにポスト本体内部に取り付けてください。取り付けずにポストを使用した場合、雨水で郵便物が濡れる恐れがあります。

❗ 取出口側にすのこの折り返し部がくるように取り付けてください。誤った方向で取り付けを行なった場合、雨水で郵便物が濡れる恐れがあります。

すのこを取り付ける際は、すのこの端でポスト本体内部をキズつけないよう注意しながら取り付けを行なってください。

投函表示シール貼付方法



・付属品に同梱している投函表示シールは投函扉専用です。投函口を分かりやすく表示する為のもので、必要に応じてご使用ください。

❗ ご使用になる際は無くさないようご注意ください。

・貼り付け前にシールの貼付位置を決め、中性洗剤等でポスト本体表面の汚れをきれいに拭き取ってから貼り付けるようにしてください。

❗ 汚れが残っている場合、剥がれの原因となります。

【推奨位置について】



・左開きの場合…投函扉上面の右側に貼り付けます。その時、シールの矢印が取っ手部分に向くようにします。



・右開きの場合…投函扉上面の左側に貼り付けます。その時、シールの矢印が取っ手部分に向くようにします。

施工後の確認

- 取付完了後、商品が確実に固定されていることをご確認ください。
- 各部のネジのゆるみ・ガタツキ等がないかご確認ください。
- 投函扉、取出扉の開閉をご確認ください。
- すのこが正しく取り付けられていることをご確認ください。
- 施工完了後は施工時の汚れをきれいに取り除いてください。
- 誤った使用を避けるため、施工完了後は必ず取扱説明書を施主様にお渡しして、取扱注意・メンテナンスについて説明してください。

商品改良のため、仕様・外観は予告なしに変更することがありますのでご了承ください。